

松井文庫 一紙文書
釈文および目録調査

中間報告書
第1号

平成21年3月23日
熊本大学附属図書館
古文書勉強会

1. 松井文庫一紙文書 釈文および目録調査とは

熊本大学附属図書館所蔵の貴重資料である松井文庫* のなかの「一紙文書」は一枚ものの文書群で、書状や証文など様々なものが含まれている史料である。これまで約4300点については文書名と差出人等を書いた簡易目録が作成されていたが、本格的な目録は作成されていない。松井文庫冊子体文書同様、調査が待たれていたもののひとつである。

附属図書館職員を中心とする古文書勉強会では、平成19年度に「松井文庫 冊子体文書目録」を図書館ウェブサイトへ公開した。一紙文書についても、冊子体文書と並行して平成17年度より調査を進めていたものであるが、平成20年度からは会員全員で釈文および目録作成に着手することとした。これは、その中間報告書である。

* 松井文庫： 出典-図書館HP

八代市の松井明之氏旧蔵の近世藩政史料及び典籍類。

細川家の城代家老として豊後統治時代から明治初年までの松井家史料は、細川家の「北岡文庫」と相俟って肥後藩政史研究上貴重なものであり、次の4つにわけられる。

第一 冊子体文書 (日記類・記録類・文書類)

第二 一紙文書 (書状類・証書類 -現在調査中-)

第三 伝習堂本 (八代の文学稽古所「伝習堂」旧蔵の典籍)

第四 貴重書 (特殊古写本類)

2. 釈文および目録調査の流れ

2. 1 調査方法

松井文庫一紙文書では1点ごとに文書を釈文した上で、詳細な目録を記録する。

2. 2 釈文

文書1点ごとに原稿用紙へ書き起こす作業である。

2. 3 目録

文書1点ごとに標題、内容、寸法等の項目を調査用紙へ記入する作業である。

3. 作業の実際

3. 1 作業をはじめるにあたってー平成17年度

・釈文済み分を調査

古文書勉強会では過去にも教材として松井文庫一紙文書を取りあげ、釈文を作成している。調べると約300点が釈文済みと判明した。

・目録調査用紙の項目を決定

どのような項目を記録するか検討し「別紙1」のとおり決定した。

3. 2 作業の進捗状況

作業は月2回の古文書勉強会の時間に実施している。平成17年度末の開始時は、会員の約半数が作業を担当した。理由は当時の勉強会には、加入したばかりの新規会員がおり、釈文の経験を積むことを目的に別教材へ取り組んでいたためである。一紙文書の目録作業は既存会員のみで開始した。

この体制は約300点の積文済み文書の目録作業が終わる平成19年度末まで続いた。平成20年度には、新規会員の別教材も完了したので、ようやく全員で着手することになり、現在に至っている。

年度別の進捗状況は次のとおり。

平成17年度	文書番号	1～23	(積文あり、目録作成のみ)
18年度		24～154	(同上)
19年度		157～285	(同上)
20年度		286～383	(積文と目録同時作成)

現在は会員全員で各自が文書1点を担当し取り組んでいるが、積文と目録の同時作業であり、1点毎に要する時間が長いために処理件数の伸びは望めないのが実情である。

4. 調査の実際

文書番号 59 を例に紹介している。

文書と積文は「別紙2」を、目録は「別紙3」を参照のこと。

5. おわりに

松井文庫一紙文書は、様々な史料が含まれており古文書として学ぶ部分も多いが古文書勉強会の会員にとってはなかなか手強い史料でもある。何度もわからない点は川口客員教授の指導をあおぎながら取り組んでいる。

また、史料の総点数が非常に多いことから、上記進捗状況でもわかるように遅滞とした作業である。この作業はあくまでも勉強会教材としての位置付けの域を出ず、目録調査のモデルとしての役割に留まっているのが現状である。

松井文庫は、冊子体文書と同様に一紙文書も保存状態が良くないものが多く含まれている。虫損の劣化が一番多くみられ、なかには開くことさえ出来ない文書もある。虫損文書への裏打ち等の補修対策も考慮する必要がある。

図書館としては今後(1)積文と目録の完成(2)文書の補修を目指さなければならない。計画性を持って予算化する必要もあり、本格的な方針を立てることが待たれている。

謝 辞

古文書勉強会でいつも私たち会員をあたたくご指導くださる川口熊本大学客員教授へ深く感謝を申し上げます。

古文書勉強会会員

*

平成17年度：北野、岡崎、永村、樋口、川内野、田川、坂崎、大倉、後藤

18年度：北野、岡崎、永村、樋口、川内野、濱崎、大倉、後藤、岩岡、笠、杉本

19年度：北野、岡崎、永村、樋口、川内野、濱崎、大倉、後藤、岩岡、笠

20年度：北野、岡崎、永村、樋口、川内野、濱崎、大倉、後藤、岩岡、笠

賛助会員：長船

*

熊本大学附属図書館古文書調査用紙

文庫名	松井文庫(一紙文書)				
文書番号					
標 題					
内 容					
書出し					
差出人					
宛 名					
日 付	年 月 日				
数 量					
寸 法	(縦) . cm				
	(横)	. cm	. cm	. cm	. cm
品質・形状	縦紙 縦継紙 折紙 切紙 小切紙 切継紙				
	縦帳 (冊、厚さ . cm、丁数 頁)				
	横帳 (冊、厚さ . cm、丁数 頁)				
備 考	包紙・端裏・貼紙・箱書など				
記入者		記入月日	平成	年	月 日

作業の実際

文書番号 59番



积文

(端裏書)

長岡式部様

御報

兼松又四郎

尚々思召寄預御音札毎度御忝
之段別而過分至極ニ存候以上

貴札忝致拝見候如仰此間者
不懸御目御物遠存候随而
鴨二被懸御意忝存候御紙面
之通事之外之寒気にて御座候
処ニ御息災之由承珍重ニ存候
拙者儀も無事ニ罷有事候
何様一夕致祇候可得御意候
恐惶謹言

霜月廿二日

(花押)

なお、古文書勉強会の場合では、原稿用紙へ手書きである。

熊本大学附属図書館古文書調査用紙

文庫名	松井文庫(一紙文書)						
文書番号	59						
標 題	兼松又四郎書状						
内 容	進物の礼と寒気見舞						
書出し	貴札忝致拝見候如仰此間者不懸御目						
差出人	兼松又四郎 □□						
宛 名	長岡式部						
日 付	年 霜月 22 日						
数 量	1通						
寸 法	(縦)	31.8 cm					
	(横)	46.0 cm	.	cm	.	cm	.
品質・形状	<input checked="" type="radio"/> 縦紙 縦継紙 折紙 切紙 小切紙 切継紙						
	縦帳 (冊、厚さ . cm、丁数 頁)						
	横帳 (冊、厚さ . cm、丁数 頁)						
備 考	包紙・端裏・貼紙・箱書など 端裏に差出人、宛名記載あり 裏打あり						
記入者	〇〇 〇〇	記入月日	平成 〇〇 年 〇月 〇日				